

『多死社会』を 不安なく 迎えるために

札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想【概要版】



① 多死社会が本格化するとどんな問題が起きる？【基本構想を策定する背景】本書P1～

今後、人口の多い世代の方々が寿命を迎えられる頃、亡くなる方が多い状態が続く『**多死社会**』が本格化します

『**多死社会**』が本格化するとこんな問題が起きる

- 「火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる」
- 「後継ぎがないためお墓が放置される」
- 「高齢単身世帯が増加する中、孤立死して無縁仏になってしまう」



亡くなった方の尊厳を保つことが難しくなる

火葬場や墓地を整備して安定的に運営するため、将来を見据えた対応が必要です！

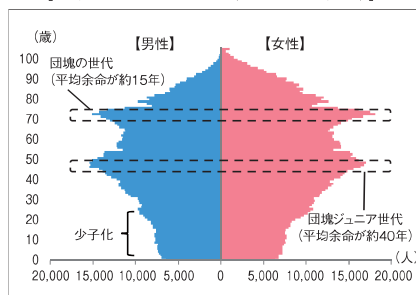
多死社会による問題への対応は、これで十分なのでしょうか？
葬送*のことは、日頃話題にされることが少ないのですが、
「死」は、いつの日か必ず、誰にでも訪れるため、
これらの問題は、全ての人に関係することです

※亡くなってから葬儀と火葬を行い、遺骨を納めたお墓や納骨堂などを管理していく一連の行為のこと

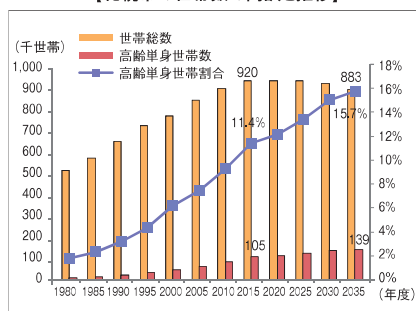
生前のうちから、葬送のことを自分事として考え、行動するきっかけが必要です！

新たに策定した「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」に基づいて、取組を進めていきます！

【札幌市の人口ピラミッド(2019年4月現在)】



【札幌市の世帯数の内訳と推移】



② 基本構想ってどんなもの？【基本構想の位置づけと特徴】本書P4～

基本構想とは…

『葬送に関するビジョン(将来の目指す姿)とその実現に向けた施策の方向性を示すもの』

特徴①

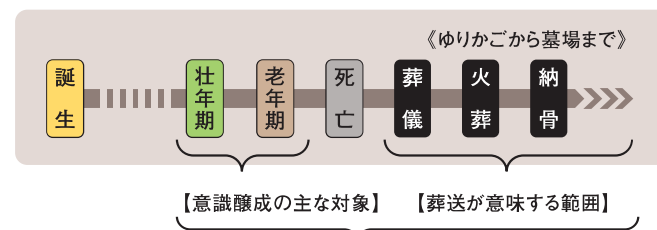
火葬場や墓地の運営・整備のほか、引取者のない遺骨や無縁墓の対策など「**亡くなった方の尊厳を保つ視点**」に立った施策を盛り込んでいます

特徴②

生前のうちから、葬送のことを自分事として考え、機会を捉えて準備し、そのことを身近な人と共有する意識を持っていただくため、「**意識醸成**」を施策の柱の一つとしています

特徴③

意識醸成の主な対象を、自分の親世代が65歳以上の老年期を迎える世代＝「**壮年期以降**」としています



札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想

【葬送に関するビジョンと実現に向けた施策の方向性を示すもの】

③ どんな将来を目指す？【ビジョン(将来の目指す姿)】本書P6～

宗教観や死生観は人それぞれであるため、「葬送のあるべき姿」は示していません
多死社会においても、それぞれの事情や置かれている環境の許す範囲で、
希望する葬送を可能な限り実現できる状態を目指します

【将来の目指す姿】

みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～

【具体的なイメージ】

意識が変わり行動している

- ☐ 生前に葬送のことを考えて準備している
- ☐ 準備したことを身近な人と共有している



安定的な環境が整備されている

- ☐ 必要な葬送を実現する体制が整っている
- ☐ 火葬場や墓地などが安定的に運営できている



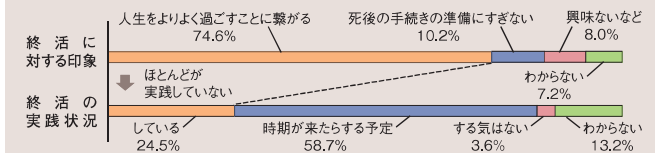
山口斎場

4 ビジョンを実現するにあたっての障壁は？【札幌市の葬送を取り巻く状況】

① 葬送に対する意識 本書P7～

1 終活に対する意識は…

【終活に対する意識調査】

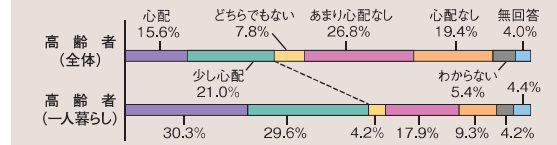


▶ 重要性は理解されていますがあまり実践されていません

実践に向けた意識づけが必要です

2 孤立死に対する不安は…

【孤立死に対する意識調査】



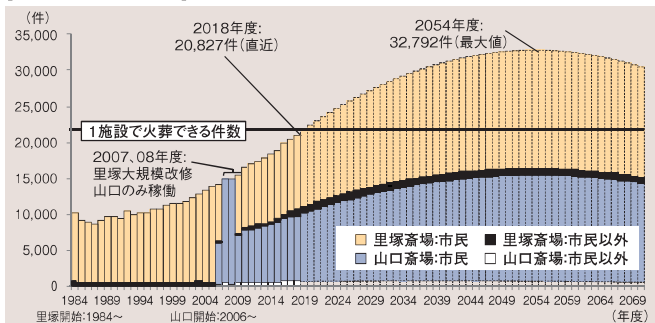
▶ 多くの高齢単身者が孤立死を不安に思っています
▶ 孤立死は引取者のない遺骨の増加にも繋がります

葬送の面からのサポートが必要です

② 火葬場 本書P9～

1 1年間の火葬件数は…

【年間火葬件数の推移】



▶ どちらかの火葬場が止まると対応しきれない状態です

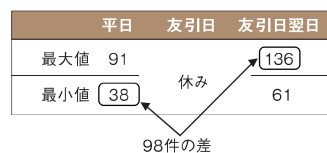
里塚・山口両斎場の継続稼働が必要です(休止を伴う改修が困難)

▶ 2054年までに火葬件数が約1.6倍に増加します

火葬件数増に対応する施設整備が必要です

2 1日当たりの火葬件数は…

【2018年度の1日別火葬件数の変動】

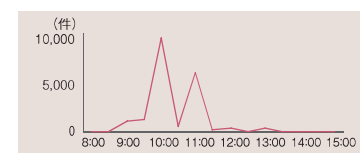


▶ 友引日は火葬場が休みのためその翌日が混雑します

▶ 火葬の受付までバスの中などで待たされることがあります

3 時間当たりの葬儀場からの出棺件数は…

【2017年度の時間帯別出棺件数】



▶ 9～10時開始の告別式が多いため午前中に出棺が集中します



混雑緩和のための工夫が必要です

4 各斎場の問題は…

里塚斎場: 「火葬棟と待合棟の間の通路が混雑する」「待合ロビーが狭い」「火葬炉に対して収骨室が少ない」などの問題があります

山口斎場: 運営上の支障は特にありません

里塚斎場の改修が必要です

③ 墓地 本書P15～

1 市営霊園のお墓は…

現在の市営霊園の運用
■ ほとんどの区画が使用中
■ 空いている区画を不定期に再公募
■ 墓地供給は民間が主体

【市営霊園・旧設墓地の無縁化疑いの状況】

【総墓石数】	46,748件
【墓の外観による判定】 ・草木が伸び放題 ・墓石が倒れている など	820件 (約2%)
【墓地台帳上の判定】 ・使用者が100歳以上 ・転居先が不明 など	6,433件 (約14%)

札幌市内の火葬場・墓地

《火葬場》

- 1 里塚斎場 1984年～(2007、08年に大規模改修)
- 2 山口斎場 2006年～

《市営霊園》

- 3 平岸霊園 1941年～
- 4 里塚霊園 1966年～
- 5 手稲平和霊園 1973年～

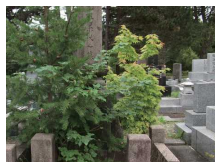
※開拓時代からの旧設墓地も17か所あります

他に檀家向けの寺院墓地や納骨堂も点在



▶ 無縁化が疑われるお墓がたくさんあります

無縁墓の解消と予防が必要です



市営霊園にある無縁墓

2 市営霊園を管理するためのお金は…

現在の市営霊園の維持管理財源

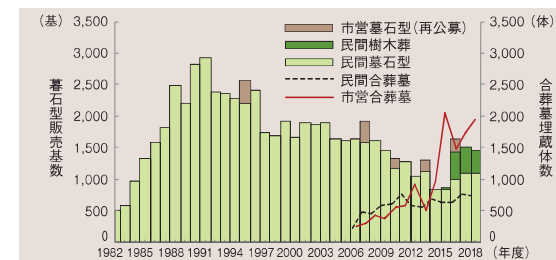
■ 市営霊園を使用する時、最初に納付いただく墓所使用料と20年分の清掃手数料のみ
■ これらを積み立てて運用し市営霊園の維持管理に使用

▶ 低金利と霊園内の改修箇所が増加によって、積立金が減ってきており、このままでは枯渇してしまいます

新たな財源の確保が必要です

3 お墓の売れ行きは…

【札幌市内の墓所販売数・合葬墓の利用実績の推移】



▶ 墓石型が売れず合葬墓や樹木葬が増えています

墓地ニーズの変化への対応が必要です

5 ビジョンの実現に向けてどんなことをする? 【基本目標と施策の方向性】本書P25～

基本目標 1 『葬送について考え行動する 市民の意識を醸成します』

意識醸成に関する施策の方向性

- ① 葬送の準備をすることの意義や必要性を広めます
- ② 火葬場・墓地に関する問題と取組への理解を求めます
- ③ 葬送関連事業者との連携による取組を進めます

基本目標 2 『多死社会においても 安定運営可能な 火葬場を実現します』

火葬場に関する施策の方向性

- ① 遺族に寄り添った視点による火葬場運営を継続します
- ② 施設整備・運用改善の両面から最適な運営体制を構築します
- ③ さっぽろ圏における効率的・安定的な火葬体制を検討します
- ④ 火葬場の使用に係る費用負担のあり方を見直します

基本目標 3 『少子高齢社会に 対応した持続可能な 墓地を実現します』

墓地に関する施策の方向性

- ① 事業者との協働により市民の墓地ニーズに対応します
- ② 市営霊園の無縁墓対策を進めます
- ③ 安全で利用しやすい市営霊園へ改善します
- ④ 市営霊園と旧設墓地の使用に係る費用負担のあり方を見直します



各主体の関わり方 本書P28～

市民

- 問題の理解
- マイナスイメージの払拭
- 自分事としての認識
- 制度や仕組みの理解
- 準備と身近な人との共有
- 適切な施設利用

事業者*

- 葬送に関する市民への支援
- 葬送に関する法令や制度の遵守
- 円滑な火葬業務への協力
- 多様な墓地ニーズへの対応と墓地の安定運営

* 葬祭業者、石材業者、墓地経営者、葬送関連NPOなど

行政

- 葬送に関する意識醸成
- 葬送関連事業者の支援情報の周知
- 安定的な火葬場運営と市民サービスの維持・向上
- 身寄りのない人などのお墓のセーフティネット
- 民間霊園、納骨堂の安定経営に向けた指導監督



6 ビジョンの実現に向けてまず検討することは? 【問題の解決手法の検討】本書P32～

(※は先行して調査や検討を実施中)

① 葬送に対する市民ニーズの把握(※)

- 葬送について知りたいこと・心配なことの把握(アンケートの実施)
- 葬送の現場での具体的なニーズの把握(葬送関連事業者との連携)

② 葬送に関する情報提供

- 多死社会に伴う問題、火葬場や墓地に関する制度や仕組みの広報
- 葬送関連事業者による支援情報の周知

協議体の設置 本書P31～

協議体の役割

市民に対して

意識醸成の取組



事業者に対して

協議体の参画事業者による同業者との情報共有



行政に対して

取組や進捗管理への意見



その他...

- ① 市営霊園の改修や機能の統廃合(※)
- ② 市営霊園の運営手法(※)

① 葬送に対する意識

③ 里塚斎場の建替・改修手法(※)

- 築35年の里塚斎場の耐用年数調査(構造部分・設備・火葬炉)
- 休止しない改修方法の検討

④ 火葬場の友引開場

- 火葬場が休場している友引日の開場の検討

⑤ 火葬場の予約システム(※)

- 到着順の火葬受付を葬祭業者がインターネットで事前予約する仕組みの検討

その他...

- ⑥ 火葬場の運営手法(山口斎場のPFI契約満了後の対応)
- ⑦ 近郊市町村との平常時の共同利用、改修や災害時の相互バックアップ体制の検討
- ⑧ 火葬場の施設整備や運用改善に係る費用

② 火葬場

① 市営霊園の無縁墓への対応(※)

- 無縁化疑い墓の使用者特定(戸籍調査など)
- 無縁化を予防するための啓発

② 合同納骨塚の運用方法(※)

- 平岸霊園の合同納骨塚の利用対象者の見直し
- 参拝者増加による混雑への対応

③ 市営霊園の新たな管理料制度(※)

- 市営霊園の運用改善や施設の改修にかかる費用を精査し、徴収額・頻度・方法を検討

④ 旧設墓地の管理方法

- ⑤ 民間墓地・納骨堂の安定経営に向けた指導

③ 墓地

生前に葬送のことを考えるため 「エンディングノート」を活用してみませんか？



エンディングノートとは…

『人生の終末期を迎えるにあたって、自分の思いや希望を家族に伝えるためのノート』

- これまでの自分を振り返り、これからの生き方を考えるきっかけになります
- これからやらなければならないこと、やりたいことが見えてきます
- 万が一の時の心の準備になります
- 残される大切な人へのメッセージにもなります

Step1: 思いつくことを書いてみる

市販のエンディングノートなどに、
以下の事項を書いてみましょう

《エンディングノートの記載事項の例》

【あなた自身に関すること】

- 名前 ●生年月日 ●住所・本籍 ●趣味・特技 ●好きなもの ●嫌いなもの
- これからやりたいこと

【医療に関すること】

- かかりつけの病院 ●持病、アレルギー、いつも飲んでいる薬
- 病気が判明した時の告知 ●延命治療

【葬儀に関すること】

- 葬儀の形式・場所 ●葬儀の規模・費用 ●遺影 ●希望する納骨の形態と場所
- 宗派 ●連絡してほしい人

【その他】

- 家族や知人などの身近な人へ伝えたいこと

Step2: 書いたことについて身近な人と話し合う

- 元気なうちに、ノートの内容をもとにして、葬送のことを家族や身近な人と話し合っておくことが大切です
- ノートの保管場所は、家族などにしっかり伝えておきましょう

Step3: 時々読み返して、考えが変わったところは書き直す

- 何度書き直しても構いません
- 最新の情報についても、家族と共有しておきましょう

エンディングノートの留意点

※財産に関すること(預金、不動産、保険、ローン、年金など)や契約に関すること(スマートフォン、インターネットのID・パスワードなど)も重要ですが、身近な人であっても、見せたり話し合ったりしづらい場合は、別にまとめて保管しておくことをお勧めします。(保管場所も信頼できる人だけに伝えるのがよいでしょう)

※遺産に関することは、法的効力を持たせるため、別途遺言書を作成することをお勧めします

札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想【概要版】 2020年3月発行

札幌市保健福祉局ウエルネス推進部施設管理課

〒060 - 0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル7階

TEL:011-211-3518 FAX:011-211-3521



札幌市 火葬場 墓地 あり方

検索



さっぽろ市
02-F06-20-502
R2-2-398